

浦上キリシタン流配150年(2018~23)

ニュースレター



「乙女峠の証し人」 福者への期待

7年前の2013年の乙女峠まつりで、当時の前田広島司教から「列聖運動開始」が宣言された。昨年2019年2月5日には、その後の運動の裏りとして列聖省より調査開始許可を頂き、5月3日乙女峠まつりで「列聖調査開始」宣言ミサを捧げることが出来た。その後広島教区の「列聖委員会」が、月に一度のペースで行われている。

今回の流配レターでは乙女峠の証し人の列聖運動の進展を願い、「乙女峠」について少し学びたいと思う。インターネットの列聖委員会サイト「乙女峠の証し人」もご覧ください。

1. 乙女峠のはじまり

- **神父、津和野に巡礼**…1889年山口に赴任したヴィリオン神父(パリ外国宣教会)が最初に津和野に巡礼したのは1890年である。浦上四番崩れで1870年に津和野等に流配(2次)された時、神父は彼らを見送ったのである。神父はそれ以降、津和野へ巡礼することが念願だった。
- **流配地の確認**…1891年 ヴィリオン神父は、流配者の幽閉地だった光琳寺跡地(乙女峠)を、津和野を良く知るヨハンナ岩永と確認した。彼女は津和野流配者で広島の伝道婦となっていた。
- **乙女峠の名称由来**…津和野城主の娘が不慮の事故で山の麓に埋葬されたことで、地域の人々が乙女山と呼んでいた。ここが流配地の「乙女峠」として知られるようになったのは、永井隆博士の「乙女峠」の物語(1952初版)を通してです。

2. 乙女峠の主な整備

- 「**追福碑**」…1892年 命を捧げた流配者の埋葬地(乙女峠近くのかぶさか蕪坂)を購入し、「幸いなるかな哉、義のために耐え忍ぶ者」との追福碑を建立した。
- 「**信仰の光 碑**」…1922年3月 石碑を建立し冥福を祈った。
- **乙女峠の広場整備**…1939年8月 メキシコの青年聖母会の寄付で、光琳寺跡地3反4畝(約3400㎡)が購入され、1949年 広場が整備された。
- 「**マリア聖堂**」…1951年5月13日(聖霊降臨の主日)におぎはら あきら荻原 晃 教区長により献堂式を行った。建設費は長崎キリシタンの子孫や信徒の方々、そして当時日本にいた進駐軍からの援助によったが、特筆すべきは献堂趣意書に津和野町有力者も名を連ね、町民からの寄付も寄せられたことである。献堂に尽力したパウロ・ネーベル神父は日本に帰化し、岡崎祐次郎(証し人の一人)と名乗った。



〈乙女峠まつり〉がマリア聖堂献堂の翌年の1952年に始まり、2020年で69回目を迎える。

- ・「キリシタン氷責め池」…1953年 池の発掘・復元整備が、ネーベル神父の手でなされた。
- ・「乙女峠の聖母とその証し人 碑」…1968年 流配百年記念としてレリーフが建てられた。
- ・「十字架の道行き」…1985年 乙女峠から^{かぶさか}蕪坂(流配者の墓地)への約600mを、山を切り開き道行きが設置された。この道は山口・広島・津和野の有志の手作業で行われた。
- ・「聖母と三尺牢の安太郎 像」…1986年 殉教者の物語をもとに設置された。



3. 乙女峠まつり

- ・第1回 乙女峠まつり…1952年5月11日に開催。第3回目から、信仰の自由を証しした浦上キリシタンの顕彰にふさわしい5月3日(憲法記念日)に祝っている。毎年各地の司教を始め、40名近い司祭が1300名を超える信徒が参加し、ミサを捧げている。

4. 津和野への徒歩巡礼

- ・「徳佐～津和野巡礼」…1980年 山口島根地区の青少年達が、山口市徳佐～津和野迄約15^{km}を徒歩巡礼し、乙女峠まつりに参加。初回は218名が、近年は約70名ほどが参加している。
- ・「津和野への旅」…広島県廿日市～乙女峠までの約90^{km}を、毎年5月 2泊3日かけて徒歩巡礼を行っている。これは流配者の廿日市上陸から津和野までの道を辿る徒歩巡礼である。初回は1982年だが当時は24時間の徹夜巡礼で、1987年に現在の形になった。近年は約40名の参加。

5. 秋の墓参巡礼／11月は^{かぶさか}蕪坂へ

- ・1952年に始まった乙女峠まつりとともに、11月は死者の月で第1回の墓参巡礼を同年11月9日開催、以降毎年墓参巡礼を行い、近年は文化の日(11月3日)に約60名が参列している。乙女峠から墓地まで約600m十字架の道行きを行い、津和野教会に戻りミサを捧げている。皆様方もご参加ください。

6. 乙女峠 友の会

- ・「友の会」発足…乙女峠を大切にし、ここで苦難を耐え忍んで証しした信仰を現代に活かし、次代に伝えていきたいとの趣旨で1979年に発足した。機関紙「せせらぎ」を発行し、友の会会員や巡礼者・観光客のために乙女峠の歴史や意義を広報している。友の会発足以来、機関紙「せせらぎ」の発行は2019年10月で102号となった。会員には個人約680名以外に、カトリック学校や諸団体も入会しておられる。

【会員募集】入会ご希望の方は津和野教会までご連絡ください。電話 (0856)72-0251
機関紙「せせらぎ」を年数回送付します。一口1000円／年。余剰金は乙女峠維持費に使用。

7. 津和野町民も支援

- ・署名協力…島根県津和野町では、乙女峠証し人列聖に向けて教区の進める署名活動にご協力頂き、津和野町民からの署名約1000名分が広島教区に届けられた。(全町民は7千余名程)

8. 列聖調査のこれから

- ・列聖委員会より…現在委員会の作業は、第一段階の「列福申請」のため、流配中の彼らの死が「殉教」にあたることを説明する、歴史的調査の段階が終わりつつあります。今後は、それを踏まえて神学的な観点からの裏付けとなる説明を加え、文書をまとめる作業が残っています。また、教皇庁の列聖省に提出するため、これらの文書の英訳作業に入ります。今後とも申請作業が順調に進むよう、皆様方の更なるお祈りとご支援をお願いします。